メッセージアウトライン

日付	2018年12月2日
単元	クリスマス
テーマ	キリスト降誕の備え
タイトル	ザカリヤとエリサベツ
テキスト	ルカ1:5～25、57～80
参照箇所	イザヤ40:3－5、マラキ4:5－6、マタイ3:1－17、マルコ1:1－15、ヨハネ1:15－39
暗唱聖句	マルコ1:3

導入	神さまは、いつごろから人間を罪から救う計画をたてていらっしゃったか知っていますか？私たちも何かやりたいことがあったら、計画をたてて、少しずつ準備をしていきますね。神さまは、どんな風に、イエスさまをこの世に遣わす準備を始めてくださったのでしょう？
Ⅰ	**ザカリヤとエリサベツという老夫婦がいました（5－10節）** A. ふたりとも、神さまの御前に正しい人でした B. この夫婦には、子どもがなく、ふたりとも年をとっていました C. ザカリヤは、神殿で働く祭司でした
Ⅱ	**ザカリヤに御使いのお告げがあり、エリサベツはみごもりました（11－25節）** A. ザカリヤに御使いが現れ、エリサベツが救い主の備えをする子どもを産むと告げました B. ザカリヤが信じなかったので、御使いはザカリヤを、ものが言えなくなるようにしました C. エリサベツは子どもをみごもりました（それによって、マリヤは受胎告知を信じることができました）
Ⅲ	**救い主がいらっしゃる前に準備をするバプテスマのヨハネが生まれました（57－80節）** A. エリサベツは男の子を産みました B. ヨハネという名前をつけたとき、御使いの言った通りザカリヤはものが言えるようになりました C. この男の子は、救い主が来る前の準備をする人になり、バプテスマのヨハネと呼ばれました
結論	**神さまは、ザカリヤとエリサベツを通して、救い主イエスさまの誕生の準備をされました**
適用	もうすぐクリスマスです。あなたの心は、イエスさまをお迎えする準備ができていますか？ヨハネは、「救い主が来られようとしています。罪を悔い改めて、イエスさまにお会いする準備をしなさい。」と伝える人になりました。あなたも、心の中に残っている罪を告白して、キレイな心で、もう一度イエスさまをお迎えしましょう。あなたの心が、イエスさまの愛でいっぱいに満たされるようなクリスマスになりますように。
備考	

メッセージアウトライン

日付	2018年12月9日
単元	クリスマス
テーマ	処女降誕
タイトル	マリヤへの御告げ
テキスト	ルカ1:26－56
参照箇所	ルカ1:39－55、マタイ1:18－25、イザヤ7:14,9:6－7
暗唱聖句	IIコリント5:21

導入	創世記のメッセージを思い出そう。アダム以来、どんな人間も罪を持っているということを学びました。その罪から救うために来てくださったイエスさまですが、あれ？イエスさまは神さまだけど人間・・・ということは・・・罪人？？
I	**御使いが、まだ結婚していないマリヤに「あなたは男の子を産みます」と告げました（26－34節）** A. マリヤはヨセフと婚約していましたが、まだ結婚していない女性でした B. マリヤに御使いが現れて、「あなたは身ごもって男の子を産みます」と告げました C. マリヤは、「どうしてそのようなことになりえましょう。私はまだ男の人を知りませんのに。」と言いました
II	**聖霊の力で、マリヤは神の子を身ごもりました（35－37節）** A. マリヤは、（人間の結婚ではなく、）聖霊の力でイエスさまを身ごもりました B. だから、イエスさまは、罪のない完全な神の子なのです C. 神さまに不可能なことは、ひとつもありません
III	**マリヤは、神さまのみこころを受け入れました（38－56節）** A. マリヤは、「おことばどおりこの身になりますように。」とみこころを行なう決心をしました B. マリヤは、エリサベツのところへあいさつに行きました C. マリヤは、神さまに、感謝と賛美をささげました
結論	**イエスさまは、結婚していないマリヤから、聖霊によって生まれた、完全な神の御子であり、聖く罪のないお方です**
適用	イエスさまは、私たちを罪から救うために、人間のかたちになって、この世に来て下さいました。私たちの罪が完全に赦されるためには、罪のない完全な神の子の犠牲が必要でした。あなたは、本当の神の御子が、あなたのために十字架にかかって死んでくださったことを信じますか？あなたの命を救うために、神さまがこんなにすばらしいクリスマスの計画をし、その御子の命をプレゼントしてくださったことを感謝していますか？
備考	

メッセージアウトライン

日付	2018年12月16日
単元	クリスマス
テーマ	神の愛
タイトル	クリスマスの愛
テキスト	Iヨハネ4:9－11
参照箇所	ヨハネ3:16,13:34、ローマ5:6-8、Iヨハネ4:7-8,12-13
暗唱聖句	Iヨハネ4:9

導入	クリスマスは、パーティーやプレゼントだけを楽しむ日ではありません。本当のクリスマスの意味とはいったい何でしょうか？
I	**クリスマスは、神さまが私たちに永遠の命を得させるために、イエスさまを送ってくださった日です（9** A. クリスマスは、神さまがそのひとり子を、この世に遣わしてくださったことを感謝する日です B. 神さまがそのひとり子を世に遣わしてくださったのは、私たちに永遠の命を得させるためです C. これがクリスマスに示された神さまの愛です
II	**私たちが神さまを愛したのでなく、神さまの方から私たちを愛し、御子を遣わしてくださいました（10** A. 私たちは神さまに背を向けて、自分中心に生きるものでした（その結果は死です） B. しかし神さまの方から、私たちを愛してくださり、罪を赦すためにこの世に来てくださったのです。ここに愛があります。 C. イエスさまは、私たちが神さまの怒りを受けなくてすむように、なだめの供え物として十字架にかかってくださったので
III	**神さまが私たちを愛してくださるように、私たちも互いに愛し合いましょう（11節）** A. これほどまでの神さまの愛を受けた私たちは、もう罪を犯さないで、互いに愛し合うべきです B. ひとりひとりみんなが、神さまにとって、そのひとり子の命を与えるほどに、価値があり、大切な存在なのです C. 神さまが私たちを愛してくださったように、自分から相手を赦し、犠牲を払って助け合いましょう
結論	**神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました―これがクリスマスに示された神さまの愛です**
適用	まだイエスさまを信じていないお友だちは、イエスさまを信じて、永遠の命というプレゼントを受け取りましょう。あなたにとって、今年が本当のクリスマスとなりますように。　イエスさまを信じているとお友だちは、クリスマスに示された神さまの愛に、もう一度心から感謝しましょう。まず、心をつくして神さまを愛し、そして互いに愛し合いましょう。クリスマスはパーティーやプレゼントの日ではなく、神の愛と永遠の命に関わる大切な日だということを、みんなに伝えましょう。
備考	

メッセージアウトライン

日付	2018年12月23日
単元	クリスマス
テーマ	キリスト降誕
タイトル	救い主の誕生
テキスト	ルカ2:1－20
参照箇所	ミカ5:2、マタイ2:4～6
暗唱聖句	ルカ2:11

導入	あなたは、自分が生まれた場所を知っていますか？自分のこどもを生むならどこで生みたいですか？生まれたら、だれに一番に伝えますか？	
Ⅰ	**マリヤとヨセフは住民登録のために、ベツレヘムへ向かいました（1－5節）** A. 皇帝アウグストから、住民登録をせよとの勅令が出されました B. マリヤとヨセフも住民登録のために、ベツレヘムへ向かいました C. 救い主のお生まれは、神さまの約束のとおりに実現されようとしていました（ミカ5:2）	
Ⅱ	**救い主イエスさまは、家畜小屋の飼葉おけにお生まれになりました（6－7節）** A. 町の宿屋はどこもいっぱいだったので、マリヤとヨセフは家畜小屋に泊まりました B. マリヤはベツレヘムにいる間に、男の子を産みました C. マリヤとヨセフは、お生まれになった救い主を、飼葉おけに寝かせました	
Ⅲ	**御使いが、救い主誕生の知らせを、羊飼いたちに知らせました（8－20節）** A. 御使いが、羊飼いたちに、キリストのお生まれを知らせました B. 羊飼いたちは、御使いが言ったとおり、イエスさまが飼葉おけに寝ておられるのを見つけました C. 羊飼いたちは、神さまを賛美しながら帰っていきました	
結論	**ベツヘレムの町で救い主がお生まれになりました**	
適用	救い主の誕生は、神さまの計画の実現でした。ローマの皇帝までも利用して、預言のとおりにお生まれになりました。しかし、それにしては、どうして家畜小屋の飼葉おけという、神の子に不似合いな場所にお生まれになったのでしょうか。どうして、このよき知らせが、羊飼いにはじめに届けられたのでしょうか。それにも深い意味があります。イエスさまは、あなたが立派な人だから救ってくださったのではありません。あなたが正しい人だから福音を届けてくださったのではありません。そのことを心から感謝しましょう。あなたも、貧しい人、弱い人、罪を犯す人を愛して、福音を伝える人になりたいと思いませんか！	
備考		

メッセージアウトライン

日付	2018年12月30日
単元	クリスマス
テーマ	守られた救い主
タイトル	博士たちとヘロデ王
テキスト	マタイ2:1－23
参照箇所	エレミヤ31:15、ホセア11:1
暗唱聖句	詩篇121:7

導入	イエスさまがまだ赤ちゃんの時、イエスさまを礼拝するために遠くからやってくる人たちもいれば、なんとイエスさまを殺そうとして近づいてくる人もいました。
Ⅰ	**博士たちは、救い主を礼拝するために、エルサレムへ行きました（1－8節）** A. 東方の博士たちは、星を見て、救い主を礼拝するために、エルサレムに出かけました B. ヘロデ王は、博士たちが「ユダヤ人の王を礼拝しに来た」と聞いて、恐れ惑いました C. ヘロデ王は、イエスさまを殺したいと思い、博士たちに「幼子のことがわかったら教えて欲しい」と言って、彼らを送り出
Ⅱ	**博士たちは、イエスさまを礼拝し、ささげものをしました（9－12節）** A. 博士たちがエルサレムを出発すると、星が彼らをイエスさまのところまで導きました B. 博士たちは、イエスさまを礼拝し、ささげものをしました C. 夢でヘロデのところへ戻るなというお告げがあったので、博士たちは別の道から自分の国へ帰りました
Ⅲ	**神さまは、イエスさまをヘロデ王の殺意の手から守られました（13－23節）** A. ヨセフは夢で知らされたとおり、イエスさまをつれて、エジプトへ逃げました B. ヘロデ王は、博士たちにだまされたことがわかると、非常におこって、ベツレヘムとその近辺の二歳以下の男の子をひとり残らず殺させました C. ヨセフは、御使いからヘロデ王が死んで安全になったことを聞き、イエスさまを連れてイスラエルに戻りました
結論	**神さまは、幼い救い主を危険からお守りになりました**
適用	あなたを愛し、救ってくださったイエスさまを、博士たちのように、礼拝しましょう。心の箱をあけて、感謝や悲しみや罪の悔い改め、すべてをささげる礼拝者となりましょう。神さまは、あなたを救う計画を実現させるために、救い主をヘロデから守ってくださいました。今日は一年間の最後の日曜日です。不思議な力で、あなたを事故や病気や心の傷から守ってくださった神さまに、心からの感謝をささげましょう。
備考	